



# ふるさと上越ネットワークたより

編集・発行 ふるさと上越ネットワーク事務局

〒101-0064 東京都千代田区神田猿樂町2-1-2

TEL.03-5244-5138 FAX.03-3294-6106

●本庁担当

上越市 総合政策部 総合政策課 ふるさと応援室

〒943-8601 新潟県上越市木田1-1-3

TEL.025-520-5625

ホームページ▶

ふるさと上越 🔍



2026.4.6 撮影：小坂庸雄さん

## 「たより」No.314 目次

会員数と	
「ふるさと市場」販売報告	1
Jネットの活動とお知らせ	2
春の交流会スナップ	3
令和8年定時総会お知らせ	3
特別ご寄稿	4
◇「四季を彩る金谷山の里山づくり」 を目指して 相澤 紀	
俳句ひろば	5
会員ひろば	5
◇飯山線森宮原駅舎内食堂 池田肝太	
◇灯の回廊 ～山里に灯る柔らかな雪あかり 祖父江ひろみ	
◇スーパーシニア音楽団『楽悠』 第14回定期演奏会のお知らせ 土田正栄	
同窓会・郷友会コーナー	6
◇東京浦川原会	
瀧川鯉橋師匠 高座予定	6
上越町家の店舗	7
◇ラーメン友 (大町通り)	
上越タイムス・上越ケーブルビジョン (アクセス方法のご案内)	7
上越産品販売のお知らせ	7
JネットHPのご案内	7
春の交流会スナップ	8
掲載記事へのご感想	8

## 会員数と「ふるさと市場」販売報告

(1) 会員数 506名 (令和8年3月31日現在)

(2) ふるさと市場の販売取次状況 令和8年3月 84点 236,344円 ※前年同月 129点 390,516円

### ◆ 3月12日(木)湯島にてサロン開催

少し春めいた当日のサロンは総勢29名、女性も8名参加で賑やかな懇親会であった。久々に参加された星野要さんからご自身の経歴をお話いただいた。差入れは、稲場さんから金鶴、高橋稔さんから天狗の舞、樫野さんから(岩の原)善、岡村さんから白鹿、新山さんから漬物、浜野さん/長谷川さんから甘栗と煎餅、福田さんからパウンドケーキ、内田さんからミカン、会長から海苔巻き/いなり寿司、有り難うございました。(事務局)



### ◆ 4月9日(木)湯島にてサロン開催

お花見の後のこの時期のサロンは例年人数が減るが、今年は28名と通常月と同じ賑わいであった。上越での交流会/観桜会に続いて参加された方も多く、また上田さん/田部さんの若手も参加、和やかな会になった。久々/初参加の塚越さん、渡部さんからお話いただいた。片田さんからレーズンパン、森島さんから越後梅、樫野さんから深雪花、会長から白ワイン、其々差入れあり、有り難うございました。(事務局)



【次回以降のサロン】 毎月第2木曜日開催 17:30～19:00 (予約不要・途中からのご参加もOKです。)

◆ R8.5月14日(木)17:30～19:00 ◆ R8.6月11日(木)17:30～19:00 参加費1,500円

会場：東京新潟県人会館「ふれあいふるさと館」 〒110-0005 東京都台東区上野1-13-6 TEL：03-3832-7619

### ◆ 春の交流会報告

4月5日、6日、上越で恒例の春の交流会を開催しました。桜は満開でドンピシャのタイミングになりました。

5日(日)は百年料亭宇喜世(仲町)で、市内からは小菅淳一市長はじめ日ごろお世話になっている方々49名、市外からは大阪、栃木からの参加者を含む23名、総勢72名で親睦を深めました。

小菅市長からのご挨拶では、「美しい(公共)トイレ」にする、キャッチフレーズは「Meet Japan in Joetsu」で観光を推進、また「ふるさと納税」を通じて上越市に支援下さいと、強調されました。次に佐久間昇二顧問(初代会長)から、Jネットが設立からやがて30年になる経緯を紹介され乾杯に。その後は賑やかな懇親会に移り、途中次の方々からお話いただきました。高鳥修一衆議院議員、丸田健一上越ケーブルビジョン社長、高岡成介岩の原葡萄酒社長、お馬出しプロジェクト宮越紀祐子さん/石川勝治さん、岩殿山明静院に関するお礼を飯野ケイさん、大阪から参加の野口庄平/村田昭夫さん。そして新任の平原謙一ふるさと応援室長に締めさせていただきました。

翌6日(月)は朝から金谷山の千本桜を見学、相澤紀さんが案内して下さいました。お昼は高田城址公園近くの食堂なかしまで交流会、21名(内市外から16名)が参加、満開の桜を観ながら和やかな懇親会となりました。(小坂庸雄記)

◆ 春の交流会スナップ 令和8年4月5日（日）於：百年料亭 宇喜世



4月6日(月)  
於：なかしま食堂



◆ 令和8年度定時総会・講演会・懇親会のお知らせ

日 時：令和8年5月23日(土) 会 場：アルカディア市ヶ谷(私学会館)  
 総 会：15：00～15：40（開場 14：30）  
 講 演：15：45～16：30 演 題：【 ちょっと知っておいて損はない眼科治療 】  
 講 師：石田誠夫 氏（石田眼科理事長、本町出身、3月に大崎ゲートシティにも分院を開院）  
 懇親会：16：40～18：00 参加費：6,500円 参加希望者は事務局までご連絡ください。

事務局(宮里)k.miyazato@araipr.co.jp TEL：03-5244-5138

## ◆「四季を彩る金谷山の里山づくり」を目指して

金谷山さくら千本の会 会長 相澤 紀

## 活動の始まり

昭和35年3月大きな夢を背負って高田高校の校門をあとにした青年たちは、夫々が色んな人生行路を歩み、平成14年還暦を迎えました。皆は仕事も卒業し、時間的にも余裕が出来ることから何か故郷に小さな恩返しをしようと、高校時代にスキー授業の舞台であった、日本スキー発祥の地「金谷山」に桜を植え、育て「平成の花咲か爺さん」を目指そうではないかとの意見がまとまり、早速行動を起こし会員を募ったところ県内外の同級生がその家族、友人を伴って164名の参加となりました。

## 金谷山の活動地

活動地は金谷山公園内の白幡山からベルリン坂に挟まれた3haの里山林です。そこは昭和40年頃まで家庭の燃料源として利用されていましたが、その後の石油時代を迎えると利用は途絶えてしまいました。人との係わりを無くした里山林は、人を寄せ付けず子供たちの栗拾いの声も聴けなくなり、加えて松くい虫やカシノナガキクイムシのダメージも受けて荒れた状態が続き、近年の熊の出没にも影響しているといわれています。里山林の再生には人と森の係わりを取り戻すことが必要であるとの強い思いで上越市、地権者の理解を得て活動を継続してきました。

## これまでの活動

金谷山は平成の時代に入ると暖冬小雪が続き、スキーができなくなってしまいました。その里山を春は桜、夏は万緑、秋は紅葉、冬は白雪の四季を彩る里山を目標に活動を続け、今年は25年目、よくぞここまでの思いです。活動は平成14年秋、10本の桜を植えることから始まりました。翌年からは、雪のない4月から11月の第二日曜日を定例日と定め活動を継続しています。活動を始めた頃は藪状態の里山林の中で、雑木を伐採し桜を植え、憩いの広場や遊歩道を造り、水辺や湿地の整備を進めてきました。慣れない大仕事でしたが、「口を出さずに汗を出す」をモットーに毎年、秋の桜植樹祭で20~30本の植樹を目指し、励んできました。汗して伐採した雑木は丸太ベンチとして憩いの広場に利用し、ナメコ原木として味わいを楽しみました。植樹活動は平成23年でひとまず終わり、その後は植樹した桜の草刈りや施肥、枯れた桜の補植などの育樹活動と周辺整備を主体に継続しています。昨年の秋には松くい虫の被害跡地を主体に、老体鞭打って15本の桜を植える「最後の桜植樹祭」を行い、これまでに607本の桜の植樹となりました。

## これからの思い

還暦で始めた活動は、これまで延べ4200人近い会員の参加に支えられてきました。近年は参加者も少なくなり、会員の殆どが85歳を迎え体力、気力に衰えを感じながらも、金谷山への強い思いと互いの絆が、今もって活動の推進力になっています。雪が消えるとカタクリが一面に咲き、雪割草も色を添え、雪に耐えた桜たちが沢山の花を咲かせ、年々美しい桜庭に変身しています。その桜庭に多くの市民や子供たちが訪れることは大きな励みで、雪などの自然の猛威にはかないませんが、これからも仲間たちの強い思いで、金谷山と対話しながら「四季を彩る金谷山の里山づくり」の実現を目指し活動を継続していきます。



平成15年10月26日 第2回桜植樹祭(桜50本植樹)参加の仲間たち



令和7年11月15日 最後の桜植樹祭(桜15本植樹)参加の仲間たち



令和8年4月12日 定例会



令和8年4月12日 満開の桜の中で

## 俳句ひろば

ピンぼけの菜花の奥に笑顔跳ね

花祭り鼻白粉に多幸あれ

古い桜これが別れか片々と

ひと休み笹餅べろり風光る

日曜日種まき済ませコンサート



乏  
硯

## 会員ひろば

### ◆飯山線森宮野原駅舎内食堂

JR飯山線森宮野原駅に行って来ました。この駅は長野県の最北端栄村に有ります。私はこの駅から4～500m離れた新潟県津南町に仕事の関係で2ヶ月1回は行きますが、これまではR117沿いの栄村道の駅で、昼食・買い物を済ませていました。この頃は、森宮野原駅にも寄ることにしています。



池田肝太

この駅には、皆さんに紹介したいものが、2つ有ります。その1つは昭和20(1945)年2月12日記録された最高積雪記録標識と、2つ目は地元のおばちゃんたちが経営者の食堂と駅の運営業務です。地元産の食材で料理され、食べ放題のの美味しい料理は最高です。列車が来ると、エプロン姿のまま切符を切り、改札をしていただきます（なかなか絵になります）。

積雪記録は標識は駅舎の中にあります。できれば飯山線の列車に乗って来てください。観光列車「おいこつと号」がおすすめです。（ランチ営業日、毎週火曜・木曜・金曜日、11:30～14:00まで。）

### ◆灯の回廊～山里に灯る柔らかな雪あかり

祖父江ひろみ

旧安塚町と旧大島村で始まった住民手作りのイベントが、平成24年2月「灯の回廊」へと形を変え、新たな地域とのつながりや、さまざまなボランティアの方の参加などにより徐々にその輪を広げ、現在では市内7つの地域にまたがる上越の冬の風物詩となりました。人々の手によって灯されるおよそ10万本ものキャンドル、その柔らかなあかりが……  
(上越市「灯の回廊」広報より)

2026年2月21日（土）、長年憧れ続けてきた「灯の回廊」に、ようやく孫娘二人を連れて行ってきました。幻想的で想像以上に美しく、心温まる素晴らしいイベントでした。

元牧村会会長の鈴木勉様とのご縁で、牧村に里帰りの皆さまとご一緒に巡ることができて、長年の夢が叶いました。当日はお天気にも恵まれ、夕闇迫るころから、牧区「ふるさと村パーク」をはじめ、4か所の会場をマイクロバスで巡りました。「ふるさと村パーク」では、トワイライトブルーに染まり始めた雪原にチロチロと無数の灯りが揺れてその美しさと言ったらありません！ああ、ロマンティック過ぎる！先ずは大感激です。東京育ちの孫たちは、雪に足を取られながらも歓声をあげて辺りを駆け回り大はしゃぎです。「牧っ子パーク」ではすでに多くの観客で賑わっていましたが、キャンドルライトと競うように続けざまに花火が打ちあがり、大勢の皆さんと寒



さを忘れて眺め入りました。会場にはキッチンカーに行列して地元の絶品手打ち蕎麦に舌鼓を打つ人々の姿があり、孫たちは熱々ほくほくの焼芋を胸に抱き、ほおぼり、大喜びでした。「棚広パーク」では地元のお母さんたちが大鍋で作った具沢山の「豚汁」が用意されていて、すっかり冷え切った身体に沁みていくようでした。「ん、このお肉は？」と思ったところで、「牧区のイノシシだよ！」と、地元のお父さんの説明がありました。たいへん美味しく有難く頂きました。最後の会場は今晚のお宿の「深山荘パーク」でしたが、建物近くにこの日限りの大雪像がキャンドルに照らされて輝いていました。当日、宿に着くなり外に飛び出していった孫たちがこの大雪像を作る手伝いをしたらしく、翌朝、重機で崩される様子を窓から見て、半ベソをかきながら惜しんでいました。まさに一夜限りの夢のようなイベントだったのです。



牧区は私にとっても所縁のある地域です。家族同様に暮らした女性が、牧区出身でしたし、毎年春に、手作りのフキ味噌や山菜を送って下さる方が「牧区の山菜でなければダメだ！」とまで仰っているスペシャルな地域なのですが、この度、十分に納得しました。

小菅市長が「牧っ子パーク」に来られましたが、雪のなかで揺らめく灯と打ちあがる花火を心から楽しまれたのでしよう。牧区里帰りの皆様とご一緒に記念撮影しましたが、真ん中で最高の笑顔で写っている市長さんの姿がありました。

みな様、来年は是非お出かけください。各会場では、ツアーバスやシャトルバスが運航されます。

※参考 2026年の「灯の回廊」の開催日、開催場所 2月21日(土) 牧区、高士区、名立区、三和区/2月28日(土) 安塚区、大島区、浦川原区

## ◆ 陸上自衛隊・警視庁・東京消防庁音楽隊OBによる

～♪～スーパーシニア音楽団『楽悠』第14回 定期演奏会のお知らせ♪～♪～♪

楽悠団員 土田正栄(Jネット会員)

2026年5月17日(日) 開演14時00(開場13時30) 朝霞市民会館・ゆめぱれす (無料)

関東地区にお住まいのみなさまへは演奏会のチラシを同封いたしました。遠方でチラシを希望の方、参加希望者は事務局までご連絡ください。事務局(宮里)k.miyazato@araip.co.jp TEL: 03-5244-5138

## 同窓会・郷友会コーナー

### ◆ 第36回 東京浦川原会総会を終えて

まだ直江津高校同窓会に参加していた頃、Jネットの前々会長の和久井さんが会へのお誘いによく来てくださっていました。会の趣旨に賛同して入会しました。総会に出るとふるさとの食材を使ったお料理やお酒で幸せを感じていました。そこで浦川原会の存在を知りお手伝いするようになりましたが、とうとう今回で解散することになりました。会員の高齢化と減少、手伝う私達も年をとってしまって…

最後だからと抽選会をゆっくり楽しんでもらおうと時間をとり精養軒の美味しい食事を食し、無事皆様に解散を認めてもらい、36年の歴史に幕を閉じました。皆様ありがとうございました。(平山裕子記)

瀧川鯉橋師匠 高座予定 鯉橋: 090-4730-9032 rik\_yoh\_taki@taupe.plala.or.jp (鯉橋メール)

- ◇ 5/9(土) サウスピア駅前寄席(武蔵浦和) ※要予約  
時間: 午後2時～3時ごろ 木戸銭: 1,000円  
出演: 鯉橋ほか会 場: サウスピア8階  
お問合せ: 048-844-7215 (武蔵浦和コミュニティセンター)
- ◇ 5/22(金) 七人の侍～流浪の落語会～  
時間: 午後1時～3時半ごろ 木戸銭: 1,500円  
出演: 鯉朝、枝太郎、楽生、鯉橋、鳳志、藍馬  
会場: お江戸両国亭(墨田区両国4-30-4)
- ◇ 6/6(土)～10(水) 浅草演芸ホール・昼の部  
時間: 正午～4時半 木戸銭: 3,500円  
※鯉橋は交互出演のため出演日未定  
主任: 瀧川鯉昇 ほか、うめ吉、蝠丸など出演  
お問合せ: 03-3841-6545(浅草演芸ホール)

主任: 瀧川鯉昇 ほか、うめ吉、蝠丸など出演  
お問合せ: 03-3841-6545(浅草演芸ホール)

#### ◇ 7/20(月・祝) グリーンホール八起寄席

時間: 午後2時～4時  
木戸銭: 2,000円(65才以上1,500円)  
出演: ほん太、鯉橋、弥七(曲独楽)、志う歌  
会場: 相模女子大学グリーンホール(相模大野)  
お問合せ: 042-749-2200  
(相模女子大学グリーンホール)

☆ブログ～七転び八起の末のホンダラダ～

<https://blog.goo.ne.jp/rikyoh3194>

どうぞご覧くださいませ 鯉橋拜



## 上越町家の店舗

### ◆ ラーメン友 noodle tomo 大町通りに2024年12月オープン。

店主の加藤友章さんは、お母様が大事にされていた元住居の建物を受け継ぎ、やりたいと思っていたラーメン屋を開業。楽しく一生懸命に店づくり、ラーメン作りをされています。祖父が印刷業をしていたころ、遊びに来ていた記憶もうっすらあるそうです。

改装時、壁が昔ながらの砂壁、更に内側は藁で納めてあり、驚きつつ歴史を感じた瞬間でした。長い店舗を生かし、大町通りと裏大町の両方から入れるようになっていました。また、長いカウンターを設置できました。店内は明るく、ひっきりなしに来客がありました。元祖メニューと季節限定メニューをいただきました。(小坂恵美 記)

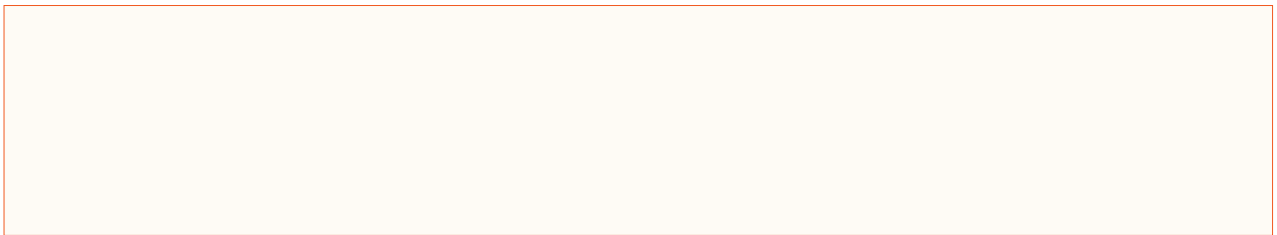
ラーメン友 上越市大町3-5-9 営業時間11:00~15:00 (駐車場は雁木通りプラザが1時間無料)  
Instagram : ramen\_tomo\_joetu



## 上越タイムス電子版、上越ケーブルビジョンへのアクセス方法 (会員のみ)

### ◆ Jネット会員は、無料でご覧いただけます。

- ① HP右肩「Jネット会員メニュー」をクリック
- ② 「ログインはこちら」をクリックし各社のHPへ
- ③ 下記のメールアドレス・パスワードにてログインしてください。



## 上越産品販売のお知らせ

### ● Jネットふるさと市場「取次販売商品一覧」

会員は送料無料でお取り寄せができますので、どうぞご利用ください。現行の各社パンフに加えて、取次販売商品一覧(A4版1枚)を同封にてお届けします。ご希望の方には、ご注文用紙をお送りしますので事務局までご連絡ください。(お電話、メールでのご注文もお待ちしています。)

### ● 上越特産市場

JCCソフト株式会社運営による、上越農林水産物・特産品のネットショッピングモールです。「上越特産市場」でネット検索いただき、お申込み下さい。

## Jネット ホームページ

### ◆ ふるさと上越ネットワークのホームページをご覧ください

「たより」を全ページカラーでご覧いただけ、上越市の四季の写真他、掲載は多様です。お知らせページでは各地の話題やイベント情報、会員ひろばでは、たくさんのお話、また会員のみなさんからの寄稿文やホットな情報もご覧いただけます。

ぜひとも、「ふるさと上越ネットワーク」を検索し、ご覧ください。スマートフォンでは、右のコードよりご覧いただけます。





ふるさと上越ネットワーク 令和8年度春の交流会  
2026. 4. 5 百年料亭：宇喜世

4月6日(月) 金谷山にて、カタクリの花満開の中、相澤さんに金谷山の魅力をお話いただきました。ブルーのジャケットの方が相澤さんです。素敵なお時間をありがとうございました。詳細はHPでもご覧ください。

4/6 金谷山

4/6：高田城址公園



4/12 金谷山



♪ 3.10たより / 掲載記事へのご感想ありがとうございます!

- ◎寄稿文、どれも読み応えあり、面白かったです。佐久間様にお会いするのを楽しみにしております。(神奈川県在住 ETさん)
- ◎サグラダファミリア、二拠点/サイクリング、最後のアルプス、どの体験記も大変興味深く読ませてもらいました。  
(東京都在住 YMさん)
- ◎吉越さん、アルプス登山はすごい。足腰丈夫なのがうらやましいです。(横浜市在住 NYさん)

◎次号「たより」は令和8年6月10日の発行です。